



発行所 立命館大学新聞社
発行人 阪田 裕介
〒603-8577 京都市北区等持院北町
56-1 立命館大学学生会館2F
直通 075(465)8253
内線 2610
〒525-8577 草津市野路東1-1-1
立命館大学セントラルアーク 4F
e-mail so0405he@ed.ritsumeai.ac.jp

情報は社会部へ

電話・FAX
075(465)8253
e-mail
so0444xe@ed.ritsumeai.ac.jp

情宣は文化部へ

電話・FAX
075(465)8253
e-mail
lt0545vi@ed.ritsumeai.ac.jp

号外

今号の紙面

選挙人選挙投票始まる…1面
川口総長の大学運営…2面
総長選挙と学友会…2面

選挙人選挙 投票始まる

総長選挙 2014

今年度は4年に1度の総長選挙が行われる。2007年から総長を務める川口清史総長(69)は規約上今回の選挙に立候補できず、新たな総長が決定することになる。学生は9月下旬から行われる選挙人選挙で総長選挙に参加する。選挙人は総長候補者選挙で投票を行う。

総長は学生の一票が決める



前回の総長候補者選挙人会。選挙人選挙で選ばれた選挙人の投票で総長が選出される=2010年10月31日午後1時、朱雀

選挙人選挙の投票は9月下旬から随時始まり、不在者投票も実施される。各学部によって日程と場所は異なる。全選挙人の選出期間は10月10日まで。

選挙人の選挙人は1学部1区分として区分ごとに選出。1区分3人を基本に各区分の収容定員の数により人数が追加され、区分によ

は、最大6人の候補者が選出される。選挙人は、候補者として各区分の有権者5人に推薦され、一般の学生の投票によって正式に選出される。2面に選挙人候補者の一覧

選挙人選挙では自身の学部、大学全体について見識のある学生が選出されることとが望ましい。候補者が

社説 総長選挙に臨んで

全学の合意形成を
今年度の総長選挙は「未来をつくるR2020」立命館学園の基本計画」の後半期を担う総長を選出するため、重要な意味を持っている。来年度の大改組は具体的な実施されていくことになる。

今年6月に開催された学生大会では、大規模な財政支出によって「学費の値上げ」が2016年度以降あり得るのではないかという点に、一部の学部の議案書で責任を全学に果たしていく危険性がある。また昨年度は必要がある。次期総長には

今年6月に開催された学生大会では、大規模な財政支出によって「学費の値上げ」が2016年度以降あり得るのではないかという点に、一部の学部の議案書で責任を全学に果たしていく危険性がある。また昨年度は必要がある。次期総長には

今年6月に開催された学生大会では、大規模な財政支出によって「学費の値上げ」が2016年度以降あり得るのではないかという点に、一部の学部の議案書で責任を全学に果たしていく危険性がある。また昨年度は必要がある。次期総長には

選挙人が総長選挙に参加することは、戦後の立命館が重んじられる「全構成員自治」を具現化する取り組みである。学園の代表で教職員の最高責任者である総長の選出に学生が参加することは立命館の理念を実現する上で重要なことである。



選挙人選挙
各区分から選挙人が選出される。
総長候補者の決定
推薦委員会により候補者が決定。
総長候補者選挙人会
選挙人の投票により総長を選出。

全構成員自治の実現へ
来年度に全学協、控える
選挙人が総長選挙に参加することは、戦後の立命館が重んじられる「全構成員自治」を具現化する取り組みである。学園の代表で教職員の最高責任者である総長の選出に学生が参加することは立命館の理念を実現する上で重要なことである。

選挙人選挙
各区分から選挙人が選出される。
総長候補者の決定
推薦委員会により候補者が決定。
総長候補者選挙人会
選挙人の投票により総長を選出。

8月6日、広島での平和記念式典に出席した安倍晋三首相が行ったスピーチの冒頭部分が昨年のもので酷似していたことが指摘され話題になった。広島と長崎への原爆投下から69年経ち、時代の経過とともに当時を生き残った人々が減っていることが懸念されている。首相が行ったスピーチは、先の大戦を知らない世代が社会の中心になっていることを象徴している。戦争を体験した人々がこれまでに残してきたものを継承していくことが焦眉の課題となる中、いま言葉の重みが問われる。今回の総長選挙において選挙人の選出は重要だ。しかしながらネット上に掲載されている公示を見てみると一部に所信表明が一言のみで、その所在が不明瞭なものが見受けられる。いかなる選挙においても言葉は非常に重要なものになる。近年では政界でも国民との約束であるマニフェストの軽視が多くなっていることが問題視される。民主主義における選挙は立候補者と投票者の信頼関係のもとで成り立つ。その媒介となる最たるものが立候補者の言葉である。9月上旬、記者は広島平和記念資料館を訪れた。そこで見聞きした当時を物語る実物資料の数々、そして被爆を経験した人々の言葉は鮮烈な印象を残した。現在、2018年度のリニューアルに向けて一部で改装工事が進んでいる。被爆者の体験とその言葉の伝承、継承が新たな形で始まる時代にあってもまず言葉を大切にしたい。

# HPで所信表明 選挙人候補者一覧

- 選挙人候補者はホームページで公表されており、所信表明や推薦理由を見ることが出来る。
- 区分ごとの選出定数
- 文学部……………6人
  - 法・経営・産業社会・理工学部……………各5人
  - 経済学部……………4人
  - 国際関係・政策科学・情報理工・映像・薬学・生命科学・スポーツ健康科学部……………各3人

法学部	稲田 隆浩	岩本 清楓
	小田 陽介	平塚 里紗
	山縣 一輝	
経済学部	坂部 拓生	武生 茂樹
	古川 雄太	吉野 隼平
	岡本 謙一	高石 晃佑
経営学部	高島 健太	寺下 穂
	若山 政輝	
	皆山 太河	木下裕一朗
産業社会学部	寺尾 和真	畑野ひかる
	平尾 美佳	
	尾張 椋	森 悠貴
国際関係学部	八島 旬平	
政策科学部	三浦なつき	満留 愛美
	渡邊 公輝	
文学部	青井 友香	朝倉 愛里
	影山 夏実	高橋 佑太
	中村 公大	納屋 忠之
映像学部	古橋 彩帆	松尾 加奈
	八島 輝京	
理工学部	麻生 翔太	壺井 克弥
	仲井 俊介	中垣 成史
	三宅 祥太	
情報理工学部	今村 逸瑠	中川 和哉
	宮本 崇大	
生命科学部	内川 紗織	長田 怜子
	永野 智大	
薬学部	小島 悠輔	山内 省吾
	渡邊 愛悠	
スポーツ健康科学部	重近 直哉	富永 幹也
	米良 結	



8年前の川口清史総長就任の記者会見  
＝2006年10月27日、朱雀キャンパス

## 川口清史総長

# 大学の拡大、国際化進む 改革に次ぐ改革の2期8年

### 国際化に尽力



川口清史総長

今年の総長選挙は、川口清史総長(69)の12月末日の任期満了に伴い実施される。川口総長は、2007年1月より現職で、10年の総長選挙で再選し現在2期目だ。大学の社会的役割、責任を重視する姿勢をみせ、大学の国際化、社会との連携の強化、新キャンパス開設などの教学改革に熱心に取り組んだ。改革派、川口総長の2期8年にわたる学園・大学運営を振り返る。(総長選挙取材班)

川口総長は、立命館大の国際化を強く推進した。川口総長の強い思いもあり、2012年度より試験的に始まった同大文学部・中国・韓国、3大学の学生が3カ国のキャンパスをそれぞれ移動し、共に学び生活する「日中韓キャンパスアジア・プログラム」は今年、文科省の「大学の世界展開力強化事業」の中間評価で最高評価であるS評価を受けた。

また今年7月24日には、10年後の同大の留学生の派遣、受け入れ数を現在の約2倍にすることを旨とする国際化戦略「グローバル・イニシアティブ」を発表。海外

の大学との連携強化や来年4月に開設予定の大阪いばらきキャンパス(OIC)を国際化の拠点とするなど、同大の今後のさらなる国際化に道筋を示した。国や経済界が大学に求めるグローバル人材の育成という要請に積極的に応えた形だ。

**社会連携を強化**

川口総長は総長就任時に本紙の取材に「立命の発展のめざすは社会との連携」と提言。地方自治体・他大学・研究機関・企業などの外部機関と同大を中心とする学園との共同研究や事業連携などを推進し、大学の研究や教育、学生の活動を社会に生かしていく政策に力を入れた。

今年だけでも8月の時点で約15件もの外部機関との連携、協力の協定が結ばれた。

昨年12月に文科省より発

## 選挙の在り方伝える 学友会

### 「自ら選ぶ」自覚と責任



学友会の稲田さんは総長選挙への取り組みを進める

総長選挙の選挙人選挙に際して、学友会は学生に投票を促す取り組みや、「理想の総長像」を作るワーキングなどを行っている。学友会の取り組みを学園振興委員長の稲田隆浩(法3)さんに聞いた。(阪田裕介)

学友会は選挙人選挙に向けた広報を展開する。各学部自治会による広報、各学部ワンジヤ1回生のサブゼミでのビラ配布、掲示物、学友会公式ツイッターなどで選挙人選挙について学生に伝える。

稲田さんは「大学以外にも学生の目に触れるSNSなどの広報に力を入れる」という。また「学生・教職員らから選ばれた「選挙人」が総長を選出する「間接選挙」の仕組みを学生に周知させることに力を入れたい」としている。

学友会では総長選挙を前に「理想の総長像」を作り上げることを目指す。稲田

表された「民間企業からの受託研究実施件数」で同大が235件で全国1位となり、産学連携推進の政策の成果が表れた。

### R2020の策定

川口総長は教学の大胆な制度改革にも着手した。12年には文学部の専攻の再編成を行い、学域制を導入。

また今後10年の学園のビジョンを示した「未来をつくるR2020」立命館の基本計画(前半期(11年度から15年度)の計画要綱(R2020基本計画))を全学討議の結果を踏まえ策定。大学の国際化と研究・教育活動の高度化を目指し、OICの開設、既存キャンパスのさらなる充実な

どの具体的な事業が2期目からは実施された。

✓ R2020基本計画 2020年度までの学園のビジョンを示した計画。常任理事会に設置された委員会の計画を基に11年度の全学協議会での討議を経て事業が本格化。来年度の全学協では後半期の事業計画が話し合われる。

学友会では選挙人選挙後、総長候補者に対して公開質問状を送付する。それらの回答を10月中旬に学生に向け開示する予定だ。



Ritsumeikan University Press

立命館新聞社

検索

新聞社新WEBサイト公開中! <http://www.ritsumeikanpress.jp/>

立命の最新情報、立命のスポーツ、新キャンパス情報、映画監督・TVディレクター是枝裕和客員教授へのインタビューなど盛りだくさん!